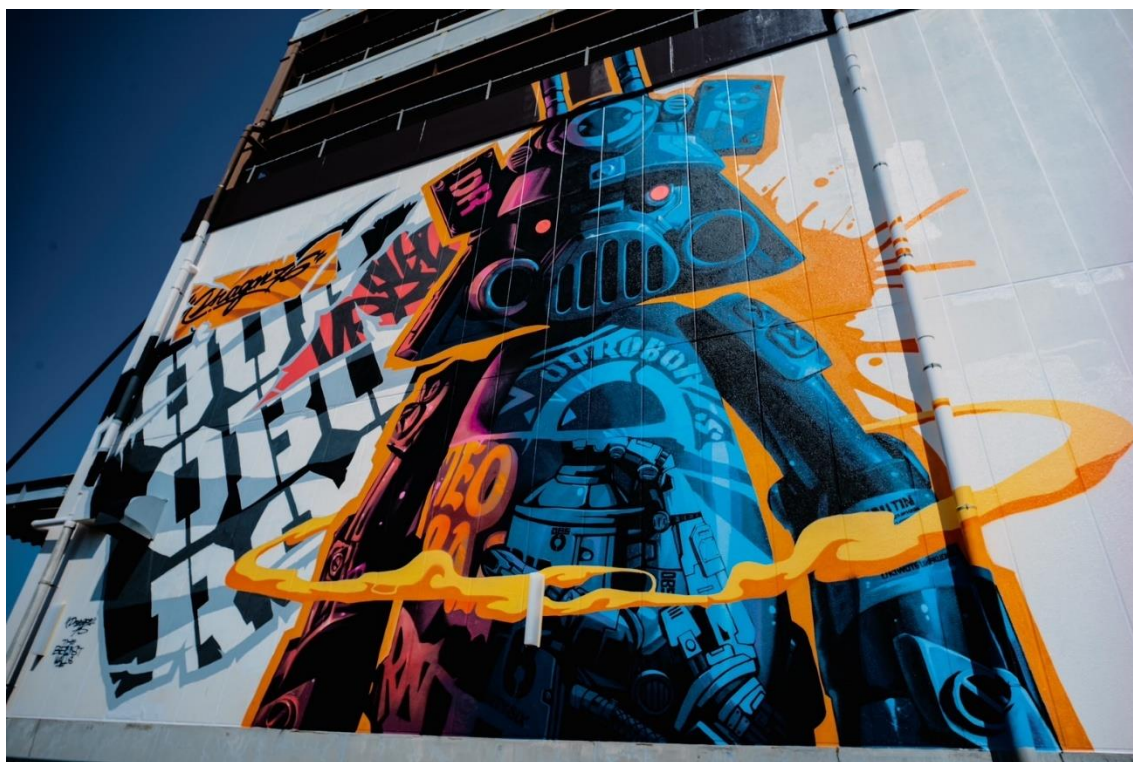


2025 年11月 10 日  
株式会社マルハン 東日本カンパニー

アートの力で地域を元気に  
～「ism 緑が丘」から始まる新たな挑戦～

株式会社マルハン(本社:京都・東京)の東日本カンパニー(社長:韓裕:以下マルハン東日本)は、地域活性化を目的とした大規模アートプロジェクト「YACHIYO ART PROJECT(八千代アートプロジェクト)」を千葉県八千代市の複合施設「ism 緑が丘」で展開しています。

本プロジェクトでは、ニューヨークを拠点に活動する日本におけるウォールアートの第一人者 DRAGON76 氏をアンバサダーに迎え、同氏による学校訪問を実施。また、11 月 10 日の「トイレの日」に合わせ、施設内のトイレ空間をアートで彩る「トイレアート」をはじめ、複数アーティストによるワークショップイベントなど、地域とアートをつなぐ多彩な取り組みを行いました。



突如現れた ism 緑が丘の巨大アート。新たなシンボルとして話題に

「なぜアートなのか」——地域の子どもたちの未来を見据えて

マルハン東日本は創業以来、長年にわたり「人生にヨロコビを」を企業理念に掲げ、エンターテインメント事業を通して地域社会との共生を重ねてきました。

「我々が社会に対してできることを追求した結果、世界と比較した「日本の幸福度の低さ」に焦点を当てました。私たちは、日本社会の閉塞感を打破すべく「好きが世界を変える原動力になる」を新たなスローガンに掲げました。

そこで、当社が保有する大型複合施設『ism 緑が丘』の設備リニューアルオープンに伴い、地元の方々に楽しんでいただき、元気が出るような施設を目指し、八千代アートプロジェクトを発足いたしました。

八千代市の自治体や教育委員会、地元にお住まいのみなさまに多大なるご協力をいただき、心より深く感謝しています」(マルハン東日本 総務法務部 部長 間篠彰規)

本年 10 月より、「人が集い、心が動く、楽しくなれる場所をつくる」ことを目的に本プロジェクトを始動。中でも“日常の中でアートを身近に感じる空間”として注目されているのが、トイレをキャンバスに見立てたアート演出。俳優で芸術家の片桐仁さんをはじめ、計 11 名の著名なアーティストが 12 カ所のトイレにアート作品を制作しました。

「誰もが利用する場所だからこそ、心地良さや驚き、楽しいを感じてほしい」——そんな思いから、アートの力で公共空間に新たな価値を吹き込みました。

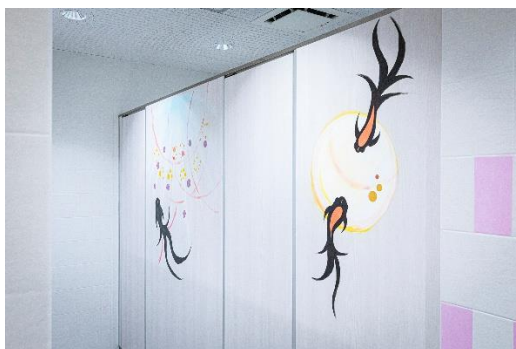


片桐仁氏が手がけた1階多目的トイレ





CAB 氏が手がけた 1 階南側男子トイレ(左)、TOMASON 氏が手がけた 1 階南側女子トイレ(右)



YUH TAKUNO 氏による 1 階男子トイレ(左)、山田ゆかり氏による 1 階女子トイレ(右)



RYU AMBE 氏による2階男子トイレ(左)、LUISE ONO 氏による2階女子トイレ(右)



Kensuke Takahashi 氏による2階多目的トイレ



T 図案氏による3階男子トイレ(左)、SHUN NAKAO 氏による3階女子トイレ(左)

DRAGON76 氏が地域の子どもたちに語りかけた「アートの自由」

ism 緑が丘のアートプロジェクト・アンバサダーを務める DRAGON76 氏は、10 月上旬には、近隣のみどりが丘小学校、新木戸小学校、高津中学校を訪問し、同氏による活動説明を含めたトークとライブペインティングを実施。延べ約 1,400 名の児童・生徒を前に、「絵を描くことは自由。自分の手で世界をつくることができる」と語りかけ、完成までのダイナミックな制作過程で子どもたちを魅了しました。

会場は歓声と拍手に包まれ、アートを通じた学びと感動の時間となりました。



DRAGON76 氏によるライブペイント(左)とトークセッション(右)

市民が創るアートワークショップとミニライブも開催

10月18日・19日には、ism 緑が丘で複数のアーティストによるワークショップ&ミニライブを開催。陶芸体験やライブペインティングなど多彩なプログラムを通じて、2日間で500名以上が来場しました。来場者からは「街にこんな場所ができてうれしい」「子どもと一緒に楽しめた」と好評の声が寄せられ、地域イベントとして大盛況に。



タイル絵付け(左)、アップサイクル(右)など、さまざまなワークショップを開催

また、ワークショップで制作された陶器作品は、4 階トイレの壁面を飾るアートピースとして展示。市民の手で生まれた作品が空間の一部となり、ism 緑が丘の象徴的なアートとして息づいています。

マルハン東日本カンパニーでは、ism 緑が丘を拠点にアートと地域をつなぐ活動を継続的に推進していく予定です。

トイレアートのような“幸福感を生み出す身近な非日常”を通して、人と街が交わり、創造が循環する——。今後も「アートの力でまちを元気にする」取り組みを、地域の皆さまとともに展開してまいります。

参加アーティスト

トイレアート 11 名

CAB／TOMASON／片桐 仁／RYU AMBE／LUISE ONO／Kensuke Takahashi／T 図案／  
SHUN NAKAO／YUH TAKUNO／山田ゆかり／ゆらぎ

ワークショップ9名・1組

DRAGON76／Tiny N／島津冬樹／片桐 仁／ゆらぎ(松本昌樹/足立直子)／T 図案／DOKKA vivid  
／Megumi Matsukawa／MAINAMIND

【ism 緑が丘】

〒276-0040 千葉県八千代市緑ヶ丘西 2 丁目 13 番地 3

【主催】

八千代アートプロジェクト実行委員会

公式サイト Instagram: @yachiyo\_art\_project

【企画プロデュース】

成田利樹(株式会社 AINEOS)、柳町建夫(TATEO inc.)、田近義博(リージョンポート合同会社)、関谷正太郎(リージョンポート合同会社)、竹内 裕亮(LINKA ASSOCIATES INC.)

【協賛】

麒麟ビバレッジ株式会社、東葉高速鉄道株式会社、株式会社マルハン東日本カンパニー

【後援団体】

八千代市、八千代市教育委員会、一般社団法人八千代市観光協会、社会福祉法人八千代市社会福祉協議会、公益財団法人八千代市地域振興財団、八千代市商工会議所、教育スポーツアカデミー、八千代ロータリークラブ

■会社概要

社名： 株式会社マルハン  
【東日本カンパニー】〒100-6228 東京都千代田区丸の内 1-11-1PCP 丸の内 28 階  
【北日本カンパニー】〒100-6228 東京都千代田区丸の内 1-11-1PCP 丸の内 28 階  
所在地： 【西日本カンパニー】〒556-0017 大阪市浪速区湊町 1-2-3 マルイト難波ビル 20 階  
【金融カンパニー】〒100-6228 東京都千代田区丸の内 1-11-1PCP 丸の内 31 階  
【グループユニット】〒100-6228 東京都千代田区丸の内 1-11-1PCP 丸の内 31 階  
創業： 1957 年 5 月  
資本金： 100 億円  
売上高： 1 兆 4,808 億円(2025 年 3 月期)  
従業員： 10,610 名(2025 年 3 月期)  
事業内容： パチンコ、ボウリング、アミューズメント、シネマなどレジャーに関する業務の経営、ビルメンテナンス事業、飲食事業、ゴルフ事業、海外金融事業なども経営(グループ含む)

【本件に関するお問い合わせ】

八千代アートプロジェクト実行委員会

TEL:050-1754-4276

E-mail:hasano@maruhan.co.jp